

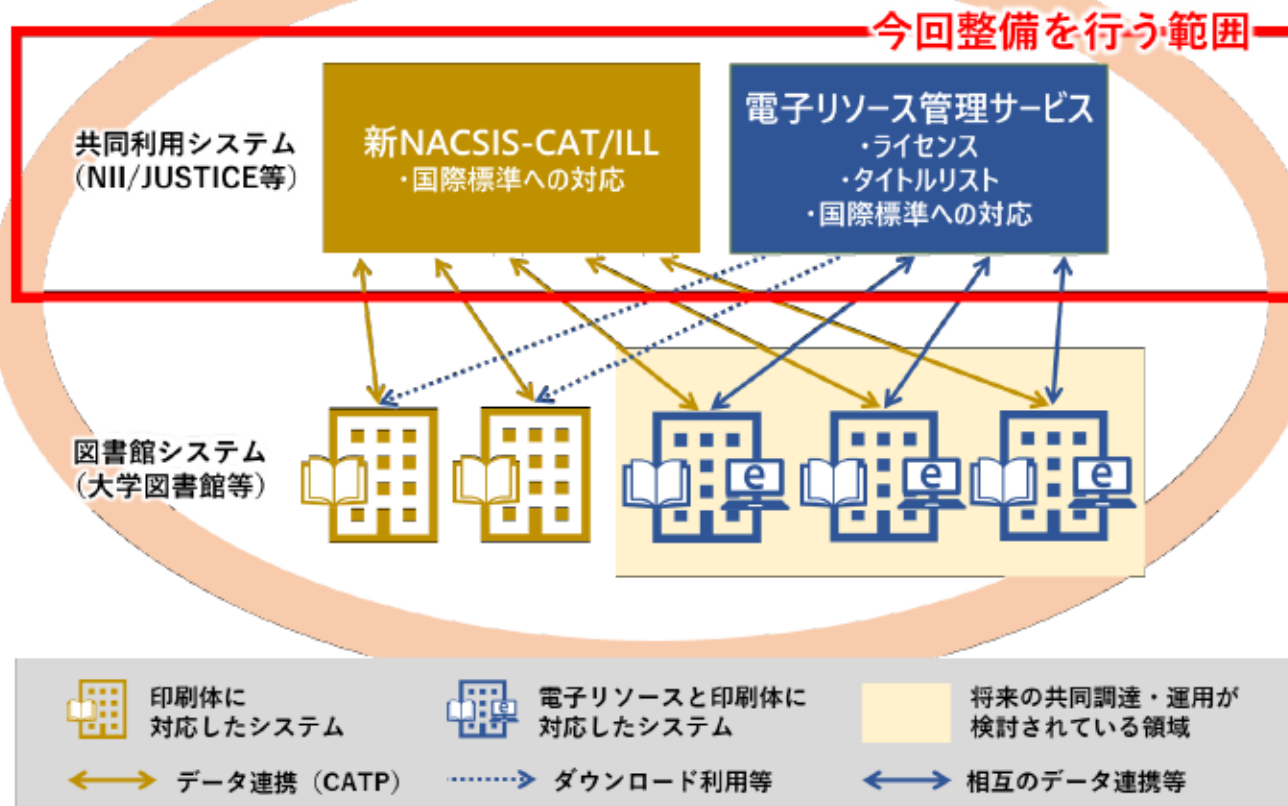
次世代学術研究プラットフォームとしての 図書館システム・ネットワーク

その将来像

これからの学術情報システム構築検討委員会
システムワークフロー検討作業部会主査
飯野勝則（佛教大学）

「図書館システム・ネットワーク」の指すもの

図書館システム・ネットワーク（大学等）



- 日本国内のさまざまな学術情報を集約し、共有するためのシステムであり、研究や教育に貢献しうる「**学術研究プラットフォーム**」の一部

新たな図書館システム・プラットフォームの価値 【新NACSIS-CAT /ILL】

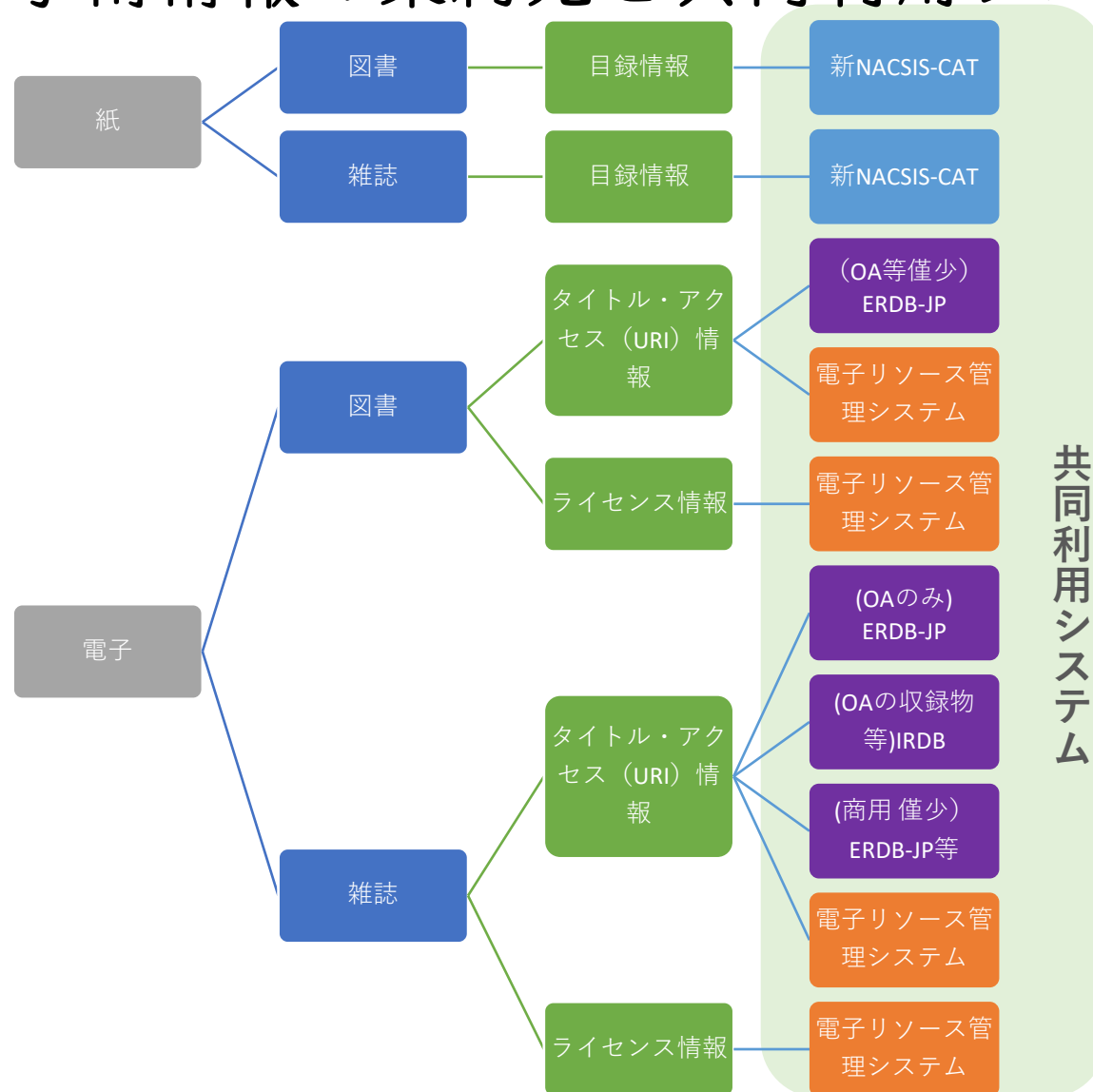
- 現在のNACSIS-CAT/ILL の機能を当面維持し、参加する約1,300 機関が利用する図書館システムとの接続の継続性を確保しつつ、新たな国際標準への対応を可能とするシステムが実現されたこと
- すなわち、新NACSIS-CAT/ILL では、メタデータの高度化に向けて、MARC21を基礎として、RDA（Resource Description and Access）、日本目録規則 2018 年版のほか、米国議会図書館が主導する新たなメタデータスキーマであるBIBFRAME等の新たな国際標準への対応が可能になったこと
 - これにより、国外諸機関などとの間での書誌データ流通等がより効率的に行える環境が出現

新たな図書館システム・プラットフォームの価値 【電子リソース管理システム】

- 『これからの学術情報システムの在り方について（2019）』において示されている、電子情報資源の効率的なワークフロー実現のために必要な「契約パッケージに含まれる**タイトルリスト**や**利用条件等**の各機関共通のデータを共有できる中央システム」が実現したこと
- 具体的には、電子リソース管理サービスとして、国内外の出版社・学会等から大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）に提出された電子リソース製品の利用条件やタイトルリスト等、**共通性**の高いデータを蓄積し、公開許諾が得られたデータを各機関の図書館システムで共有するための仕組みが実現したこと
 - 加えて**国際標準**に対応したシステムとしたことで、とくに国外の電子リソース製品のメタデータを効率的に活用できる下地が整えられた

図書館システム・ネットワークの将来像 共同利用システムの方角性と可能性

主要な学術情報の集約先と共同利用システム



電子リソース管理システムの「次」

- 電子リソース管理システムの導入により，JUSTICE参加館においては，電子ジャーナルを中心とする契約タイトルリストとURL情報，ライセンス情報の管理に道が開かれる
 - ただしJUSTICE参加館で共有されるタイトルリストは，とくに電子ブックのメタデータとしては「物足りない」ことから，この点を解消する仕組みが求められる
 - また国内で提供される商用の電子ブックは，一般的にJUSTICE契約の外で提供されており，これらの存在を効率的に把握し，CiNii Booksや図書館システムで活用できる仕組みを構築する必要がある

CiNii Booksの現状

Maruzen eBook Library
Maruzen eBook Libraryは、学術書籍に特化した機関向け電子書籍配信サービスです。

BIRD 佛教大学附属図書館

トップへ 戻る

情報資源組織論 3訂 (現代図書館情報学シリーズ 9)

閲覧 共有 エクスポート

著者 田窪 直規 (著)
出版社/提供元 樹村房
出版国 日本
言語 日本語
出版年 2020
ページ数 17p,232p
ISBN 9784883673391
eISBN 9784883679683
ジャンル 総記 > 総記 > 図書館情報学
NDC分類1 014
NDC分類2 -
NDC分類3 -
NDC分類4 -
コンテンツID 3000090521
リンク シリーズ「現代図書館情報学シリーズ 全巻検索用」ページへ
ダウンロード: 可

内容

司書養成課程へ向けた情報資源組織論の教科書。『日本目録規則 2018年版』やその他の環境の変化に対応し、内容の充実を回った三訂版。

Bukkyo University Sign Up Login

Search

Books Journals Advanced Search

Notice of renewal procedure of Institution authentication

小林 康隆
コバヤシ, ヤスタカ

渡邊, 隆弘
ワタナベ, タカヒロ

0 Tweets
Like

Google Books

Details

NCID: BB3053014X
ISBN: 9784883673391
Country Code: ja
Title Language Code: jpn
Text Language Code: jpn

- 検索対象は、「紙」の書誌レコードがある資料のみとなっているが、利用者の視点から考えても「紙」の目録であるNACSIS-CATと並立する、必要かつ十分なメタデータを集約した「電子」の目録のニーズは大きい

「電子」の目録をどう構築するか

出版社や書店（電子ブックのプラットフォーム）との協力

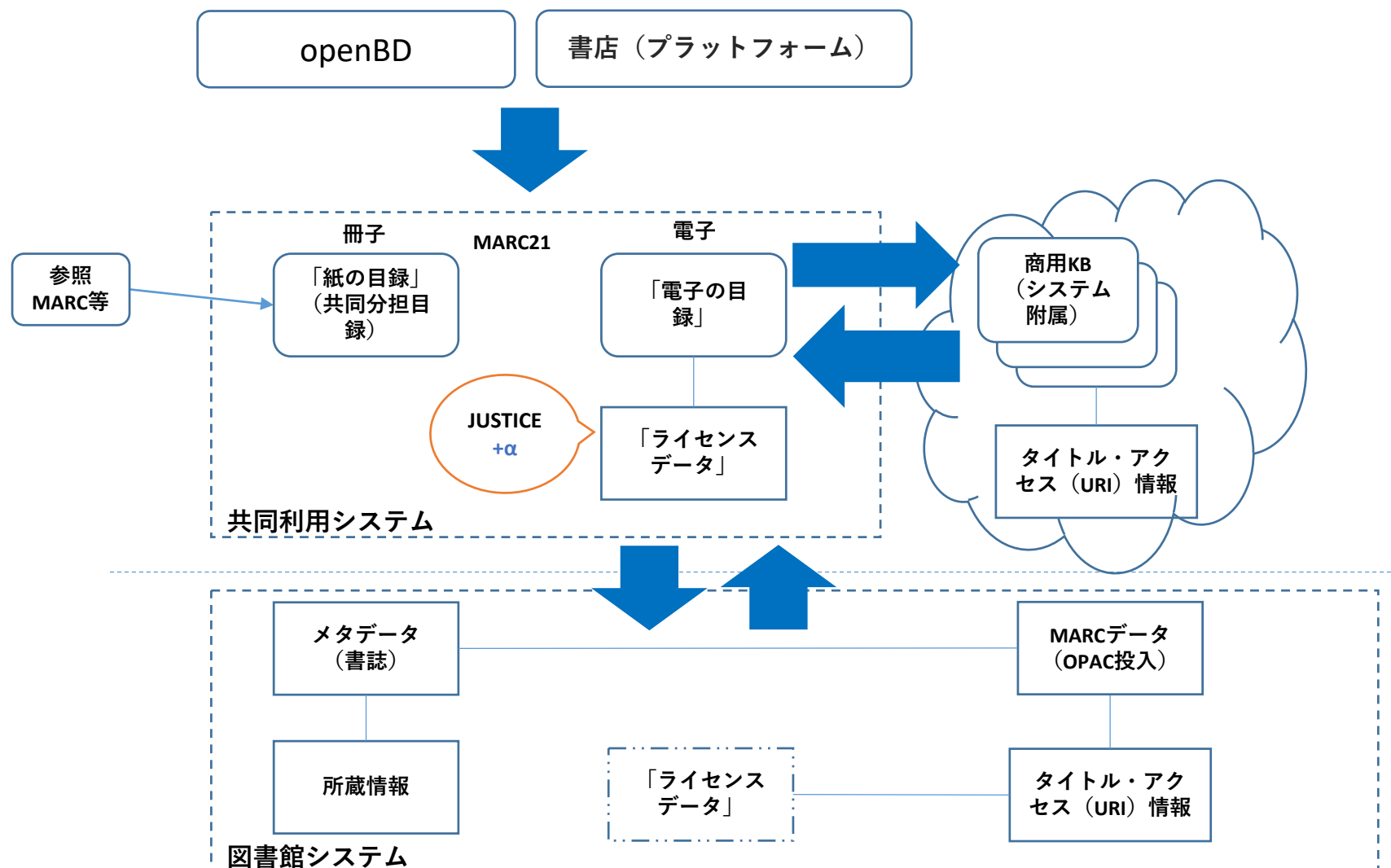
- 大学図書館での人的リソースの不足などの状況を鑑みると、「電子」の学術情報の集約や共有に労力を費やす**余裕はない**
 - NACSIS-CATですら軽量化・合理化を進めてきた状況
- **海外の事例**に倣い、出版社が販促等のために、取次や書店向けに作成する**流通系メタデータ**や、電子ブックのプラットフォームで利用されている書誌データを利用し、「電子」の学術情報を集約できることが望ましい
 - 流通系メタデータやプラットフォームの書誌データの特性から**抄録**や**目次データ**を含む、豊かなメタデータを検索用の書誌データ等として利用できる可能性がある
 - 出版社から**流通開始**と同時期にメタデータの入手ができるようになれば、図書館の発注・受入業務の軽減にもつながる

openBD



- 版元ドットコムに登録している**出版社**400社の書誌データとJPRO（出版情報登録センター）に直接登録している**出版社**の書誌データが集約されている（JPRO-onix/JSON）
- 現在，取次を通過した本のJPRO掲載率は86%（2019年度）だが，取次の電子化により今後100%近くなるということで，さらなる集約が期待される
- **電子書籍取次**大手のメディアドウの電子ブック等のデータが入る予定
 - **システムワークフロー作業部会**では，openBDと意見交換を開始

openBDや書店(プラットフォーム)に期待されること



「電子」の目録におけるメタデータのあり方

- 「電子」の目録の書誌データでは、WorldCatなどで行われているような、グローバルに共有される領域とローカル領域を分離して扱うことで、全機関に対する修正を即時反映できることが望ましい（修正の「共有化」）
- 所蔵データに当たるアクセス情報（URI）については、さまざまなプラットフォームから収集する必要がある、それを書誌データと結合させて活用できる仕組みが求められる
- ライセンスデータは「電子」の書誌データとの紐づけ（リンク）が必須であり、デフォルトではグローバルに共有されるライセンスデータに紐づきつつ、JUSTICEコンソーシアムや、プラットフォームの考え方などに合わせて変更できるような機能が必要
 - JPROでは「紙」に対して「著作権」というライセンスデータの管理を始めており、openBDで出版社が考える「グローバル」なライセンスデータを収集できる可能性もある

「電子」の目録の進展がもたらすもの

図書館システムと利用者の視点から

図書館システムにおける業務の省力化

- 「電子」の目録の書誌データが、**目次データ**や**抄録**を十分に反映し、かつ海外の書誌データのように水準の高いものになれば、グローバル領域の書誌データを**修正**する必要はなくなる
- 「電子」と「紙」は形態（体現）が違うのみで、情報の**本質は同じ**であるという考え方（**IFLA LRM**）を踏まえれば、こういったリッチで高水準の書誌データは「電子」と「紙」の目録のいずれにおいても活用できるようになり、図書館はローカル領域のデータ設定のみを行えば十分という状況が生まれる
 - これにより、図書館は「共同利用システム」が用意する「紙」の目録と「電子」の目録のグローバル領域のデータを触ることなく、**そのまま**自館の目録として利用できるようになる可能性がある

マイクロコンテンツ（図書チャプター等）のレコード化

The screenshot shows the Bukkyo University Library search interface. The top header includes the library logo, a search bar with the ID '3-319-54341-5', and navigation links for '新規検索' (New Search) and '詳細検索' (Advanced Search). The left sidebar contains filters for '絞り込み' (Refine), '資料タイプ' (Document Type), 'データベース(ソース)' (Database/Source), '新規登録レコード' (Newly Registered Records), and '発行年月日' (Publication Date). The main content area displays search results for 'Famines During the 'Little Ice Age' (1300-1800)'. Two results are shown, both marked as 'オンライン' (Online). Result 1 is 'Starvation Under Carolingian Rule. The Famine of 779 and the Annales Regni Francorum' by Ebert, Stephan. Result 2 is 'Combining Written and Tree-Ring Evidence to Trace Past Food Crises: A Case Study from Finland' by Huhtamaa, Heli. Both results include a brief description and a 'プレビュー' (Preview) link. A 'SCOPUSSM' badge with the number '1' is visible in the bottom right corner of the results area.

3-319-54341-5

お気軽検索

この雑誌内を検索 : Famines During the 'Little Ice Age' (1300-1800)

適合度 ▾ 順による結果 14件

☒ 学内提供サービス以外を追加

1 オンライン Starvation Under Carolingian Rule. The Famine of 779 and the Annales Regni Francorum
: Ebert, Stephan
Famines During the 'Little Ice Age' (1300-1800), 08/2017
How vulnerable was the Frankish society to famines in the Early Middle Ages? Modern concepts of vulnerability and resilience are mainly used to describe...
図書論文 / 章見出し 本文あり (一部例外を含む)
プレビュー ▾

2 オンライン Combining Written and Tree-Ring Evidence to Trace Past Food Crises: A Case Study from Finland
: Huhtamaa, Heli
Famines During the 'Little Ice Age' (1300-1800), 08/2017
The lack of written source material on population and food availability has hindered studies on medieval and early modern food crises in many parts of the...
図書論文 / 章見出し 本文あり (一部例外を含む)
プレビュー ▾

SCOPUSSM
1

- 「電子」の目録の書誌レコードが、目次レベルの情報を有する場合、チャプターレベルのレコードを機械的に作成し、共有することも可能になる

「共同利用システム」をベースとするウェブスケール・ディスカバリ・サービスの可能性

The screenshot shows the Simcoe County EBSCO Discovery Service interface. At the top, there's a header with the County of Simcoe logo and navigation links like 'Log In | My Account | My Lists | Library Information | Select Language'. Below the header, a search bar contains 'Japanese' and a 'Search' button. The main content area displays '1618216 Results Found'. On the left, there's a 'Research Starter' section titled 'Japanese immigrants.' with a brief overview of Japanese immigration to the Hawaiian Islands. Below this, two search results are listed: 'Title Japanese American Internment.' by Weisman, Kay and 'Title Loyal Citizens.' by Feldman, Ruth Tenzer. On the right, there's a 'Limit Search Results' sidebar with filters for 'Expanded by', 'Narrowed by', 'Expanders', 'Limiters', 'Published Date', 'Source Type', and 'Subject'.

The screenshot shows the Collingwood Public Library EBSCO Discovery Service interface. At the top, there's a header with the library's name and logo, and navigation links like 'About Us | Location & Hours | Contact Us'. Below the header, a search bar contains 'Japanese' and a 'Search' button. The main content area displays '932608 Results Found'. On the left, there's a 'Research Starter' section titled 'Japanese immigrants.' with a brief overview of Japanese immigration to the Hawaiian Islands. Below this, two search results are listed: 'Title Japanese American Internment.' by Weisman, Kay and 'Title Loyal Citizens.' by Feldman, Ruth Tenzer. On the right, there's a 'Limit Search Results' sidebar with filters for 'Expanded by', 'Narrowed by', 'Expanders', 'Limiters', 'Published Date', 'Source Type', and 'Subject'.

- 「共同利用システム」が各参加館に対して個別のインスタンス（検索画面）を用意することで、「電子」と「紙」の目録を統合的に検索するサービスはウェブスケール・ディスカバリ・サービスとなる（カナダのCounty of Simcoe Library Cooperativeコンソーシアムなどですでに実現）

ILL（リソースシェアリング）の進化

- マイクロコンテンツの検索結果から、ILLへシームレスにつながる仕組みを作ることによって、より**正確**なメタデータを取り込んでの申請が可能となる
- （図書館と出版社が望む）ライセンスデータを明示し、その内容をシステム側に反映させることで、ILLができるもの、できないものの判別が可能となる
 - これにより、海外と同様に利用者が所属する図書館の手を介さない**Unmediated形式**のILLの実現につなげることができる
 - 出版社と協力し、ILLと併せて**コンテンツそのものの販売**や**STL（Short Term Loan）**などを提供することで、文献入手の多元化を進めることができる

理想の実現のために必要なこと

ODI: Open Discovery Initiative

Open Discovery Initiative = ODI

(オープン・ディスカバリ・イニシアティブ)

- 米国情報標準化機構（NISO）の賛助により運営される常設委員会
- 図書館，ウェブスケール・ディスカバリ・サービスのプロバイダ，出版社の三者が共生関係にあるものとして，それぞれから選出された委員によって構成
- ウェブスケール・ディスカバリ・サービスに関するデータや技術に関するさまざまな指針を示している

ODIに倣って

- 図書館と「共同利用システム」の運営主体、そしてステークホルダーたる書店（プラットフォーム）と出版社は共生関係になることが、学術情報流通の視点からは望ましい
- ステークホルダーとの協力を進め、openBDや電子ブックのプラットフォームで使われるデータについて、高水準での規格化を働きかけるなど、図書館の望むメタデータの提供を積極的に行ってもらえることが必要
 - 「共同利用システム」が提供する目録の検索サービスに、ステークホルダーとともに、STLやデータ販売の道を用意するといった姿勢が、図書館や「共同利用システム」の運営主体に求められる
 - ステークホルダーには、高水準な書誌データが共有されることで、世界中に販路が広がる可能性があり、利益をもたらす可能性があることや、学術分野における日本の存在感を高めることができるということに、共感していただくことが必要

ご清聴ありがとうございました